
暗黒と混沌の狭間。

無尋 挪揄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗黒と混沌の狭間。

【Zコード】

Z9574C

【作者名】

無尋 挪揄

【あらすじ】

高校の入学式前日、ドタドタとした騒々しい音と調子外れな間抜けな声と共に中年男性が私の部屋に入ってきた…。この日から主人公の運命が少しづつ可笑しな方向へ変わっていく。

プロローグ

私は幼い頃から頭が良かつた。

小学校、中学校とそんなに勉強というものをしなかつたが、トップクラスの成績を維持し、学区内でも、一番の進学校にこの4月から晴れて入学する事が決まり、それなりにこれから始まる高校生活に不安や期待を抱いていたそんなある日、というより入学式の前日の事だ。

その日の夕方、私は一階にある浴室で特にすることも無かつたので惰眠を貪っていた。

するどどこからともなくドタドタとした騒々しい音と共に調子外れな間抜けな声が聞こえてきて「乖離^{かいり}」。一見美少女だけど何故か彼氏が全く出来ない乖離^{かいり}^{おじいわら}といいながら娘の部屋をノックせずに行きなり中年男性^{おじいわら}が入ってきた。

「…自分の娘を美少女とかいうのやめてよお父さん。それに一体何の用？」

「フハハハハハ！よくぞ来ててくれた出来の良い我が娘よ！聞いて驚け！お前にいい話を持つて来たぞ！」

「…わー凄い、お父さんが私にいい話なんて珍しい。」

本當、珍しい。お父さんから聞いた最近の話なんて、自動車免許が取り消された事と、会社でリストラされた話だもん。

「なんだ、その感情の籠もつていらない言葉は…」

「どうせこいつ話じやないでしょ。」

「いや、物凄くいい話だ。」

「ふーん…で、どんな話?」

「当てる。」

私は少し考えて

「えーと…再就職先が見つかったとか?」
と答えた。

(ズーーーン…)

「すいません、まだです…。」

セレニには、本当に申し訳なわけないでいる無職むじゅくが居た…。

「御免、お父さん…。」

「いや、いいんだ…。」

「お父さん、その事は置いといていい話つて何なの？…
重い雰囲気を断ち切りせるべく話題を戻す。

「ああ…それはな…」

「美少女なのに彼氏も出来ない貴方！内心焦つていたと思われる貴
方に朗報があります！貴方には同じ年の許婚いいなすけがいます！…しかも
この春から同じ高校…！」

…と言つたのは忍者の様に突然現れた母だった。

「言われた
父、絶叫。

…！…！」

「…

「うつして私に許婚が出来た（とうつより居ること）が解つた）。
「うつやらの許婚とやらは同じ高校の新一年生らしい…。

ああ、やばー… 本当にやばー。

何がやばいって？

それは私の部屋で白目むきながら失神して失禁した身内の恥の事で
ある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9574c/>

暗黒と混沌の狭間。

2010年12月2日15時24分発行